

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

平成二十九年の年頭にあたり謹んでご挨拶申し上げます。

皆さま方には、日頃から当協会の運営に特段のご支援、ご協力を賜り衷心より厚くお礼申し上げます。

昨年は、国際的には、英国の EU 離脱、アメリカファーストを掲げるトランプ新政権の保護主義政策・TPP からの離脱懸念、新興国経済の減速、原油価格の先行き不透明、為替の円高基調など、様々な懸念材料の中、景気の先行き不透明感がある年となりました。また、国内経済動向としては、「景気は弱さも見られるが、緩やかな回復基調が続いている」との経済報告もありますが、地方においては、必ずしもそうではなく、依然、厳しい状況が続いています。

全国における木材産業の需要動向の指標となる新規住宅着工は、思いのほか好調に推移し、平成 28 年次の着工数は、95 万戸を超え、消費税駆け込み需要のあった平成 25 年次の 98 万戸に近づくのではないかとの声も出て来ていますが、中長期的な視点で捉えれば人口は減少し、新設住宅着工数の減少は必然であり、木材の新たな需要拡大が重要な課題であります。

県内においては、第 2 期産業振興計画の取組総括として、平成 22 年度を基準として、平成 27 年度の本県木材生産量や製品出荷額は、ほぼ目標に近づく見込みであるが、平成 33 年度のさらに高い目標達成に向けては、これからの住宅需要が漸減する見通しから、困難な状況であり、新たな木材利用促進に果敢に挑戦していくことが不可欠であり、非住宅部門や土木部門等への新規需要の掘り起こしが重要な課題であります。

木材協会としても、土佐材の良さを理解して頂くために、大消費地である東京や大阪での商談会や、関東・東海・福岡での土佐材展示会に出展する一方、県内でも「優良土佐材見本市」や「もくもくランド」の開催を通じ、より広く消費者に木材の良さを知って頂き、使って頂くように努力することが必要と考えています。

そのためには、これまでの取り組みを謙虚に振り返り、県民の財産であるすばらしい自然を活かした木材を使って頂くために、業界の皆様とともに全力で取り組んでいく所存でありますので、どうか一層のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後となりましたが、本年が皆さま方にとって幸多い 1 年となりますようご祈念して新年のご挨拶といたします。



次世代林業基盤づくり交付金

【平成29年度概算決定額 7,010(6,141)百万円】

需要に応じた低コストで効率的な木材の生産・供給、木材利用の拡大を実現するため、CLT等を活用した木造公共建築物の整備等により需要拡大を図るとともに、木材加工流通施設、苗木生産施設等の整備、間伐材生産・路網整備など地域の実情に応じた川上から川下までの取組を総合的に支援します。

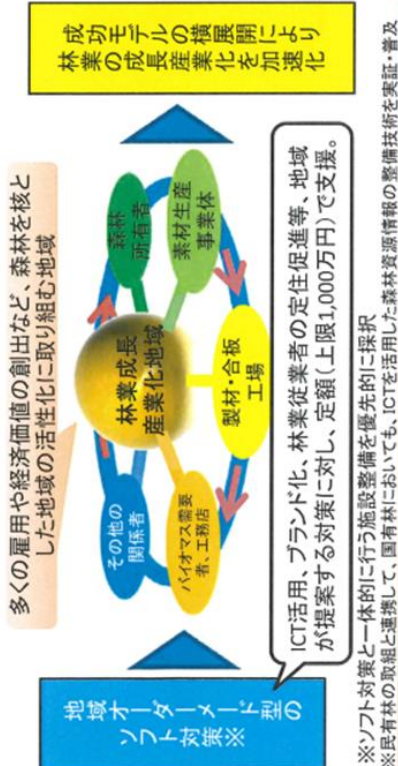
次世代木材生産・供給システム構築事業

◆用途別の需要に的確に対応できる木材のサプライチェーンを構築するため、間伐・路網整備を推進。



林業成長産業化地域創出モデル事業

◆地域の関係者が連携して「林業成長産業化」を実現するため、地域オーダーメイド型のソフト対策を支援。



森林・林業再生基盤づくり交付金

◆地域の自主性・裁量を尊重しつつ、都道府県に対して幅広い対策を支援。



○林業の効率的かつ安定的な経営基盤の確立

- 高性能林業機械等の導入
- 特用林産物の生産基盤の整備
- 林業担い手等の育成・確保、林業労働安全衛生の推進

○木材製品の安定的・効率的な供給体制の構築

- 木材製品の安定供給構想等の実現に必要な木材加工流通施設の整備

○森林保全の推進等

- 森林病害虫や野生鳥獣による被害防止、森林資源の保護
- 山地災害に対する地域の防災体制の強化
- 森林環境教育、体験学習の場の整備
- コンテナ苗木生産施設等の整備

○木材利用の拡大

- CLT等を活用した木造公共建築物等の整備
- 木質バイオマスの供給・利用を促進する施設の整備



●ハード事業、●ソフト事業 ※ハード事業は、市町村広域連携支援でも取組可能

平成 28 年度木材協会第 2 回理事・監事会

平成 28 年 11 月 28 日(月)15:00～17:00 高知会館において高知県木材協会平成 28 年度第 2 回理事・監事会が行われ、執行部より提案された事案はすべて承認されました。

会員が増えました

理事会において下記の加入が承認されました。

(個人会員)

株式会社 HIKARI 高知龍馬木材市場



(団体会員)

高知県木協建材協同組合



これにより、高知県木材協会の会員数は、賛助会員 11 市町村、個人会員 28 社、団体会員 17 団体の合わせて 56 会員となりました。

全国木材産業振興大会表彰者祝賀会

富山県で開催されました第 51 回全国木材産業振興大会(11/10)において表彰されましたお二人の祝賀会を理事会終了後に行いました。



おめでとうございます。



全木連会長表彰状 國友 昭香 氏



林野庁長官感謝状 濱田 司 氏

全木連四国支部事務局担当者会議



平成 28 年 11 月 29 日 (火)

香川県高松市 ルポール讃岐

参加者：四国四県の木材協会 5 人

(徳島は木材協同組合連合会)

平成 28 年補正予算を活用し、四国 88 カ所霊場への木製ベンチ寄贈の案が了承されました。

交付決定後にベンチの形状などについて再協議することになります。



北岡 浩 氏 旭日小綬章の伝達式

平成 28 年 11 月 30 日 (水) 高知県庁において知事より北岡氏夫妻に旭日小綬章の伝達式がありました。



祝賀会のお知らせ

平成 29 年 2 月 17 日 (金) 18:00～

高知市の城西館において举行します。

参加される方は 2 月 3 日までに木材協会へお申し込みください。

木質バイオマスエネルギー利用促進協議会勉強会



平成 28 年 12 月 2 日（金）
ふくし交流プラザにて勉強会が開催されました。

参加者は約 30 人



講師は 竹林 征雄 氏
(NPO バイオマス産業社会
ネットワーク副理事長)

小規模の木質バイオマス発電機器(ドイツ製)を導入した事例の紹介がありました。
エネルギーのロスが少なく、地域おこしに繋がる設備とのことでした。
投資額はおよそ 1 億 5 千万円。
燃焼材料の乾燥が重要になり、ペレットを燃料とすれば効率が良いとのことでした。

非住宅建築物木造化促進事業 第 4 回検討会



森林技術センターでの破壊試験の様子

平成 28 年 12 月 6 日(火) ちより街テラス 参加者：30 人

非住宅建築物の木造化は高知県林業活性化推進協議会としての取組。検討会も回を重ねるごとに具体的な研究事例の報告など煮詰まってきました。
コンビニエンスストアの木造化などの課題については次回に発表がある予定です。
次回は 3 月 10 日の開催を予定しています。



試験体→

合法木材利用促進法(クリーンウッド法)セミナー

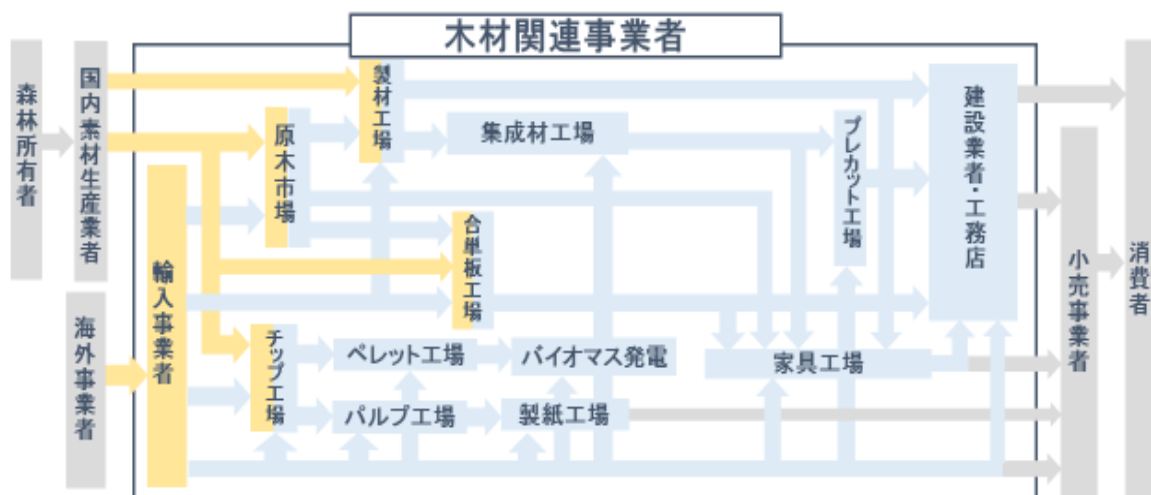


平成 28 年 12 月 14 日(水) 高知市春野町文化ホールピアステージ 参加者：95 人

今年の 5 月から施行される合法木材利用促進法についての説明会を開催しました。
全木連の加藤氏、林野庁の内田氏からの概要説明がありました。

これまでの合法木材は木材流通業界の取り組みでしたが、建設業・木工業などへも範囲を拡大し、最終的には消費者が「合法木材」を意識できるような仕組みを作っていこうとしています。ただし、まだ具体的な手法については確定していない部分もあり、今後引き続き情報提供していきます。

木材関連事業者の範囲【2条3項関係】



※本イメージ図は木材等の複雑な流通構造の概略を示したもの
※本イメージ図では木材等の輸出事業者は省略

2条3項

この法律において「木材関連事業者」とは、木材等の製造、加工、輸入、輸出又は販売(消費者に対する販売を除く。)をする事業、木材を使用して建築物その他の工作物の建築又は建設をする事業その他木材等を利用する事業であって主務省令で定めるものを行う者をいう。

説明会資料より抜粋

第 42 回 木材まつり（素材の部）



平成 28 年 12 月 19 日(月) 高知県林材(株) 参加者：荷主 40 社、買い方 約 80 人

出材：1,590 m³ うち 1,500 m³を即日販売(森林管理局分 約 400 m³)

天気も良く、お客様も多く活気のある市となりました。杉・モミの木などで大径木もありました。



表彰された方

四国森林管理局長賞：

清水産業(株)四国事業所

高知県知事賞：

(有)吉川林業

高知県木材協会長賞：

住友林業フォレストサービス(株)

街路市出店者講習会



平成 28 年 12 月 21 日（水）高知市総合あんしんセンター

木材協会として日曜市に 1 コマ分の出展スペースを登録しています。週替りで木工連の方に催事をお願いしているところです。

今回の講習会は 3 年に 1 度の重要な講習となりました。（途中で帰ってはいけない）

日曜市の開催中に南海地震が起きたらどちらの方角に逃げるか、目の前で人が倒れた時の A E D の使い方、火災が起きたときの消火器の使用方法、食品表示法などが内容の講習でした。

戸田文友氏 旭日小綬章受章記念祝賀会



平成 29 年 1 月 18 日（水）

城西館

高知県森林組合連合会前会長の戸田文友氏が旭日小綬章を受章されました。

祝賀会が開催され、多数の方が集いました。

木材協会からは会長と専務が出席しました。

WOODコレクション(モクコレ) 2017



平成 29 年 1 月 19 日(木)～20 日(金)
東京ドームプリズムホール

東京都が中心となって昨年から開催されている展示会です。昨年は東京・岐阜・長野の 3 自治体でスタートしましたが、今年は日本各地に声掛けを行い 16 の都道府県 137 の団体・企業が参加しました。

高知県は、今年の実績を見させてもらい来年からの参加を検討します。



国産材 **NEW** ビジネス開拓シンポジウム



平成 29 年 1 月 21 日(土)
徳島県三好郡東みよし町

東みよし町東部福祉センター
参加者：約 70 人

四国 4 県連携木材新市場開拓協議会が主催するシンポジウムです。

高知県の企業を代表して池川木材工業(有)の大原社長から木材輸出事業についての事例報告がありました。

土佐材流通促進協議会

1. 展示会開催事業（丸宇木材市売(株)下館市場 第7回土佐材展示会）



平成 28 年 11 月 18 日（金）

茨城県下妻市半谷

丸宇木材市売株式会社下館市場

下館市場開設 24 周年記念市に併せて土佐材展示会を開催しました。

来場者：約 60 社 80 人

土佐材の出展量：約 500 m³

販売実績：約 8 割を即日販売

売上高：約 2,330 万円

2. 展示会開催事業（大阪木材相互市場(株) 第1回高知県産材フェア）

平成 28 年 12 月 13 日（火）

大阪市港区市岡

大阪木材相互市場株式会社

来場者：約 200 人

販売量：約 450 m³

販売金額：約 1,440 万円

今年度から新たに加わった流通拠点、市場の年末謝恩祭に併せて TOSAZAI のフェアを開催してもらいました。

市場内の問屋は(株)汐見、(株)タニカ、
(株)吉原商店



3. 消費地商談会事業（開催予定）

昨年開催した広島での商談会では、良いお客様とめぐり逢えました。
その後、多くの棟数の注文を頂きました。柳の下にまた…

予定(1)：平成 29 年 3 月 8 日(水)13:30～
岡山国際交流センター

予定(2)：平成 29 年 3 月 9 日(木)13:30～
ワークピア広島



写真は昨年の広島商談会(28/3/10)

4. 高知県販売拡大拠点の開拓（邸別個配送流通拠点）

これまでは、東京・大阪の大都市圏での販売を目指して流通拠点を設定していましたが、これからは少し離れた地方都市(京都・滋賀・姫路・岡山・広島)などへの邸別配送をどうしていくかの課題があります。そこで昨年末からセンコー(株)住宅物流営業本部との交渉を進めてきました。

センコー(株)の場合は日本全国に配送拠点があり、大手ハウスメーカーの建材配送をすでに行っています。昨年 12 月と今年 1 月に岡山・神奈川の流通拠点を見せて頂きました。



平成 28 年 12 月 16 日（金）岡山県
岡山センコー物流(株)を訪問しました。



平成 29 年 1 月 20 日（金）神奈川県
厚木物流センターを訪問しました。

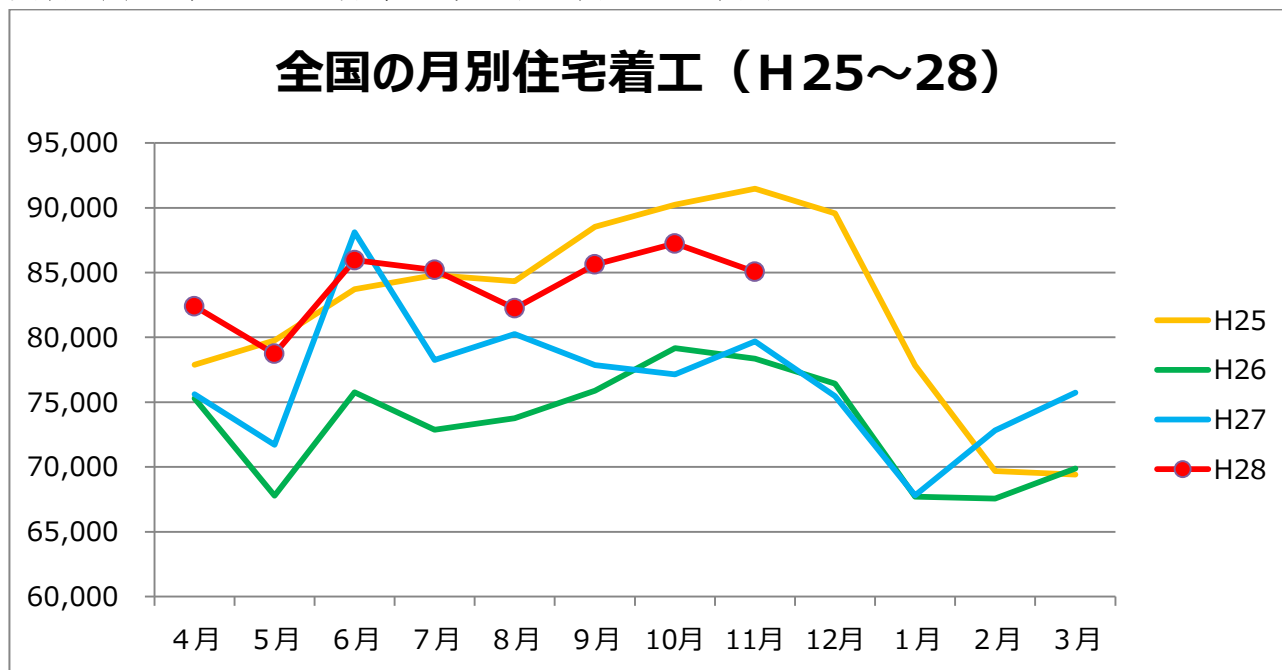
住宅着工情報

資料(1) 全国住宅着工数

平成28年 11月分着工新設住宅戸数：利用関係別・都道府県別表

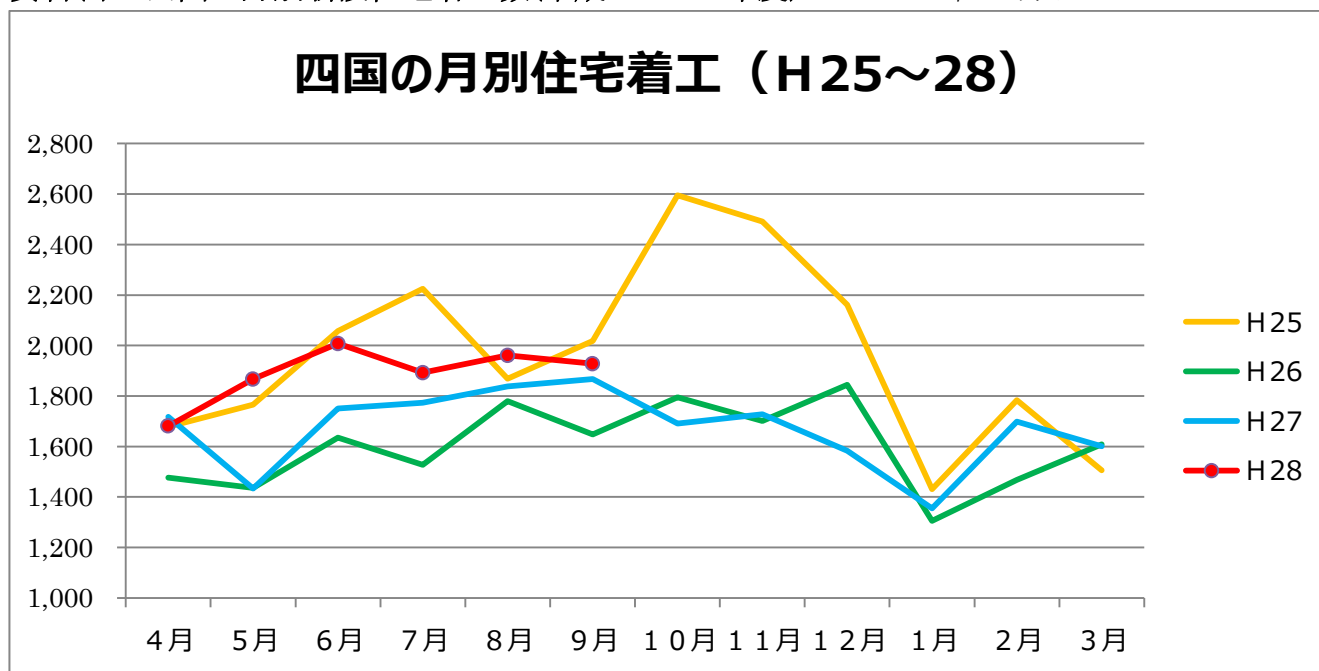
(単位：戸、%)

	総数		持家		貸家		給与		分譲		うちマンション		うち一戸建	
	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比	戸数	対前年 同月比
北海道	3,497	10.8	1,006	-1.9	2,010	14.1	27	285.7	454	25.8	263	57.5	191	-1.5
青森	617	32.4	333	23.3	225	56.3	3	-72.7	56	36.6	0	0.0	56	36.6
岩手	736	-4.8	371	-11.5	326	1.2	1	-88.9	38	65.2	0	0.0	33	43.5
宮城	1,821	-5.7	586	-17.3	946	5.0	18	38.5	271	-12.0	0	-100.0	271	-1.5
秋田	338	47.0	216	44.0	96	60.0	2	-	24	20.0	0	0.0	24	20.0
山形	515	0.0	256	-5.2	173	-3.9	0	0.0	86	32.3	18	-	68	4.6
福島	1,399	13.6	618	1.8	566	27.2	23	-54.9	192	50.0	38	-	154	20.3
茨城	1,639	-1.3	823	7.7	582	-12.1	8	0.0	226	-0.4	0	0.0	224	-1.3
栃木	1,083	-0.9	526	-3.1	363	-3.7	2	-	192	11.0	0	0.0	192	11.0
群馬	1,245	8.9	578	9.3	471	4.7	0	0.0	196	19.5	0	0.0	196	19.5
埼玉	5,164	-0.6	1,342	0.2	2,355	9.2	1	-50.0	1,466	-13.7	266	-39.3	1,196	-5.1
千葉	4,534	-8.6	1,216	-6.2	2,156	11.9	1	-66.7	1,161	-33.0	2	-99.7	1,148	18.0
東京	11,471	11.1	1,403	-1.8	5,951	23.9	45	-51.6	4,072	1.7	2,474	7.9	1,550	-7.7
神奈川	8,339	16.4	1,412	-8.7	3,296	27.3	0	0.0	3,631	19.9	2,130	38.6	1,427	1.9
新潟	1,194	6.8	495	-4.6	634	59.3	10	25.0	55	-71.5	0	-100.0	55	-11.3
富山	786	32.3	315	5.7	431	71.7	0	-100.0	40	-4.8	0	0.0	40	-4.8
石川	788	2.1	335	-1.8	394	27.1	12	200.0	47	-59.8	0	-100.0	47	-29.9
福井	310	-1.6	176	3.5	91	-17.3	2	100.0	41	20.6	0	0.0	41	20.6
山梨	428	5.2	267	3.5	139	11.2	1	-	21	-12.5	0	0.0	21	-12.5
長野	1,134	16.4	665	5.6	258	10.3	2	-60.0	209	99.0	105	-	104	-1.0
岐阜	973	-9.6	523	-15.6	299	-8.3	2	-91.7	149	40.6	0	0.0	149	40.6
静岡	2,213	-2.9	1,053	-14.5	823	19.4	16	-40.7	321	-3.6	59	-9.2	262	-2.2
愛知	5,947	32.5	2,066	32.9	2,606	48.6	16	60.0	1,259	7.7	191	-23.3	1,068	16.1
三重	824	-13.1	449	1.1	260	-36.6	2	0.0	113	22.8	0	0.0	111	20.7
滋賀	841	16.8	406	6.0	241	1.7	0	-100.0	194	96.0	52	-	140	41.4
京都	1,312	-9.6	383	-9.5	567	9.2	2	100.0	360	-29.1	83	-64.8	277	1.8
大阪	5,994	14.6	1,062	14.4	2,887	3.5	3	200.0	2,042	35.0	1,164	96.3	868	-4.6
兵庫	3,004	-5.9	955	0.0	1,247	-0.1	16	-56.8	786	-17.4	388	-10.8	398	-20.7
奈良	598	-19.9	249	3.3	210	-6.3	0	-100.0	139	-48.5	0	-100.0	139	13.9
和歌山	508	-5.4	234	-13.0	115	-46.3	0	-100.0	159	200.0	133	-	26	-50.9
鳥取	284	23.5	126	2.4	102	2.0	0	0.0	56	700.0	45	-	11	57.1
島根	472	69.8	181	41.4	280	211.1	0	-100.0	11	-81.4	0	-100.0	11	266.7
岡山	1,378	27.4	491	3.6	545	1.9	0	0.0	342	368.5	252	-	90	23.3
広島	1,692	22.3	521	2.2	757	39.2	0	0.0	414	25.8	181	88.5	233	0.0
山口	928	22.4	330	28.9	546	71.2	1	-66.7	51	-71.7	0	-100.0	51	21.4
徳島	319	-26.5	185	-3.1	118	-35.2	0	0.0	16	-73.8	0	-100.0	16	-42.9
香川	505	7.4	230	-11.9	191	11.0	0	-100.0	84	154.5	51	-	33	0.0
愛媛	671	30.8	354	19.2	259	85.0	0	0.0	58	-23.7	0	-100.0	58	31.8
高知	306	-1.6	150	27.1	94	-21.0	3	50.0	59	-18.1	39	-13.3	20	-25.9
福岡	3,672	-13.7	820	-3.1	2,376	16.5	64	2,033.3	412	-69.8	67	-93.5	322	-1.5
佐賀	436	-13.3	182	-3.7	235	-20.6	2	100.0	17	0.0	0	0.0	17	0.0
長崎	520	-15.6	211	-10.6	210	-38.1	3	-50.0	96	174.3	80	-	16	-54.3
熊本	1,497	122.8	748	124.6	556	126.9	7	-12.5	186	116.3	60	-	126	46.5
大分	488	-31.6	242	2.5	152	-50.5	7	250.0	87	-48.2	58	-50.0	29	-44.2
宮崎	666	28.3	251	-20.1	343	107.9	1	-50.0	71	86.8	0	0.0	71	86.8
鹿児島	908	-5.8	410	6.5	420	-12.7	5	-28.6	73	-19.8	0	0.0	73	-19.8
沖縄	1,057	-19.1	242	-4.3	715	-12.4	6	0.0	94	-59.3	64	-67.5	30	-11.8
合 計	85,051	6.7	25,993	2.7	38,617	15.3	314	-17.2	20,127	-1.8	8,263	-6.9	11,683	1.8
北海道	3,497	10.8	1,006	-1.9	2,010	14.1	27	285.7	454	25.8	263	57.5	191	-1.5
東北	5,426	5.4	2,380	-1.9	2,332	13.6	47	-44.0	667	14.0	56	69.7	606	9.8
関東	35,037	6.4	8,232	-1.2	15,571	16.9	60	-45.9	11,174	0.2	4,977	-0.9	6,058	0.9
北陸	3,078	10.0	1,321	-0.5	1,550	45.0	24	50.0	183	-52.6	0	-100.0	183	-10.7
中部	9,957	13.3	4,091	6.3	3,988	25.4	36	-42.9	1,842	8.4	250	-20.4	1,590	14.7
近畿	12,257	3.2	3,289	2.8	5,267	0.7	21	-60.4	3,680	8.4	1,820	28.9	1,848	-5.6
中国	4,754	27.4	1,649	10.6	2,230	40.4	1	-75.0	874	34.9	478	64.8	396	10.6
四国	1,801	4.2	919	6.0	662	8.0	3	-50.0	217	-10.3	90	-18.2	127	-3.8
九州	8,187	-0.7	2,864	12.8	4,292	10.8	89	206.9	942	-47.7	265	-77.0	654	1.2
沖縄	1,057	-19.1	242	-4.3	715	-12.4	6	0.0	94	-59.3	64	-67.5	30	-11.8
首都圏	29,508	6.7	5,373	-4.2	13,758	19.9	47	-52.0	10,330	-1.3	4,872	-3.0	5,321	0.2
中部圏	9,957	13.3	4,091	6.3	3,988	25.4	36	-42.9	1,842	8.4	250	-20.4	1,590	14.7
近畿圏	12,257	3.2	3,289	2.8	5,267	0.7	21	-60.4	3,680	8.4	1,820	28.9	1,848	-5.6
その他地域	33,329	6.2	13,240	4.6	15,604	14.6	210	27.3	4,275	-13.6	1,321	-38.0	2,924	3.9

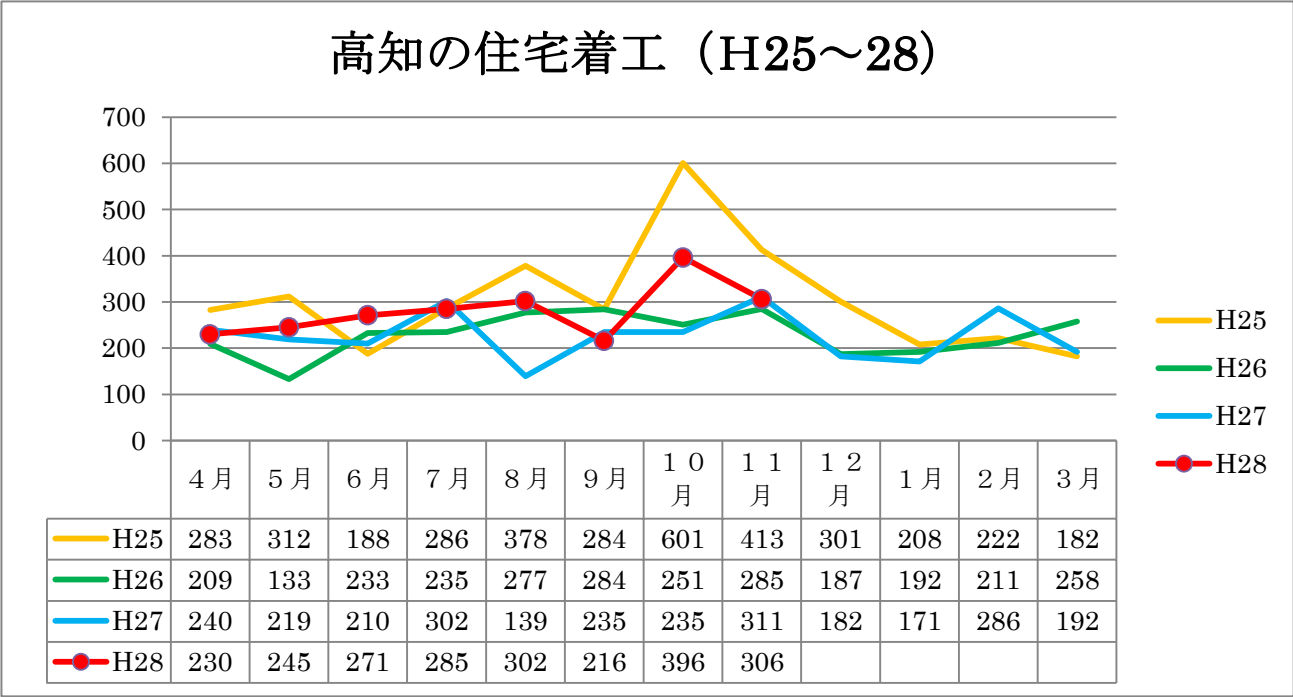


平成28年11月の全国の新設住宅着工数は85,051戸で前年同月より6.7%増加した。この現状で推移すれば、着工数は昨年度を上回ることが濃厚で、消費税の増税延期による消費の落ち込みを、マイナス金利政策・低住宅ローン金利・優遇税制などで下支えした格好だ。

持ち家（注文住宅）は前年同月比では2.7%増の25,993戸となった。市場をけん引している貸家は前年同月比15.3%増の38,617戸と依然と高水準を保っている。分譲住宅は一戸建てが同1.8%増の11,683戸と好調を維持しているが、マンションが-6.9%減の8,263戸となった。マイナス金利により金融機関の貸出が積極化し不動産向け融資が拡大していることや、低住宅ローンの金利による購入意欲の増加、相続税対策による貸家着工の伸びが続いている。また全国的に注文住宅や貸家・分譲とも大手ハウスメーカーや地域パワービルダー中心の傾向が一層強くなっている。



資料(4) 高知県の月別新設住宅着工数(平成 25～28 年 11 月まで)



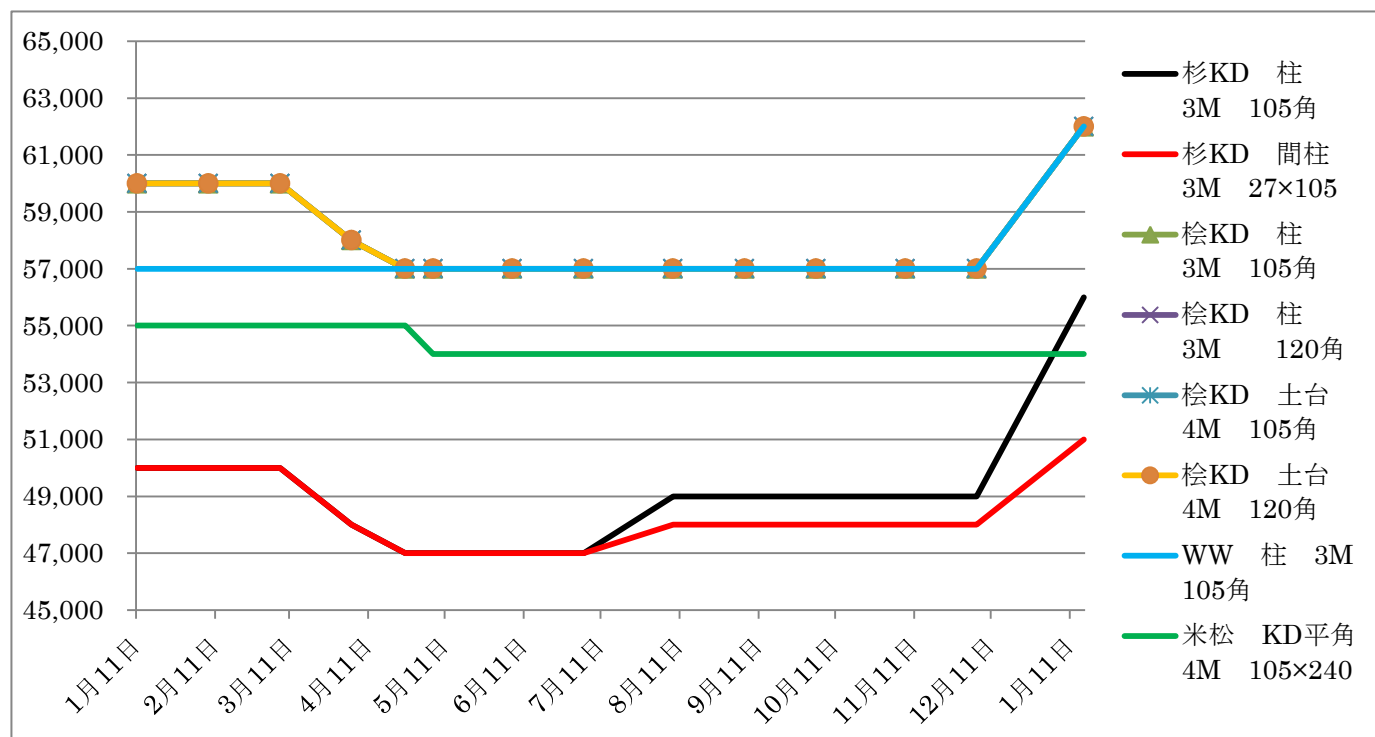
高知県の平成 28 年 11 月の住宅着工数は、前年度比－1.6%の 306 戸となった。これは 10 月に持ち家・賃貸とも新設着工大幅増の反動であるとみられる。持ち家は、前年同月比 27.1%増と大幅に増えて 150 戸。貸家は先月 75%増の反動が大きく同 21.0%減の 94 戸となった。分譲は同 18.1%減の 59 戸で、内訳は分譲マンションが同 13.3%減の 39 戸、分譲住宅は同 25.9%減の 20 戸だった。高知県内の新設住宅着工は貸家が大幅増でけん引していて、全体的には昨年度より高めで推移している。



写真は兵庫県加古川市で建築中の土佐材を使用した住宅(28/12)

木材価格情報

資料(5) 製品市況 関東市売り場(28年1月～29年1月11日まで) 木材ウィークリー参照



(備考：桧KD土台 3M・4M 105角・120角 はすべて同価格の為、グラフが重なって見えます。)

平成 29 年 1 月の国産材製品市況は、年明けもプレカット工場の稼働が好調で製品も一般構造材を中心に、強保合で推移している。

市場問屋の商いも一般材を中心に好調に推移しているが、輸入材や集成材等も円安や供給不足などの影響もあって、製品価格は年末～年始にかけて若干上昇している。

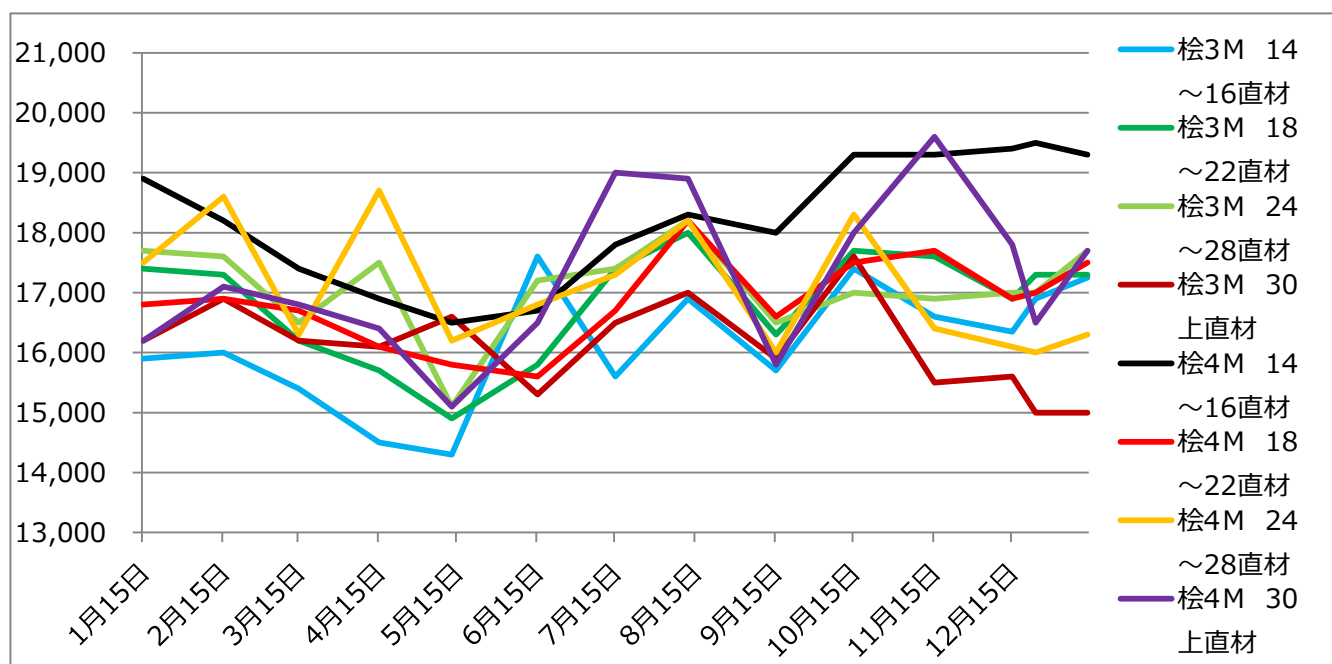
構造材は桧 KD 土台・柱角、杉 KD 柱角とも荷動きは強保合、羽柄材は杉 KD 間柱を中心に強保合。役物は昨年同様に引き合いが少なく、弱保合で推移している。

今後は 2 月にかけてはこのままで推移するとみられるが、需要期の終わる年度末にかけての荷動きは不透明となっている。



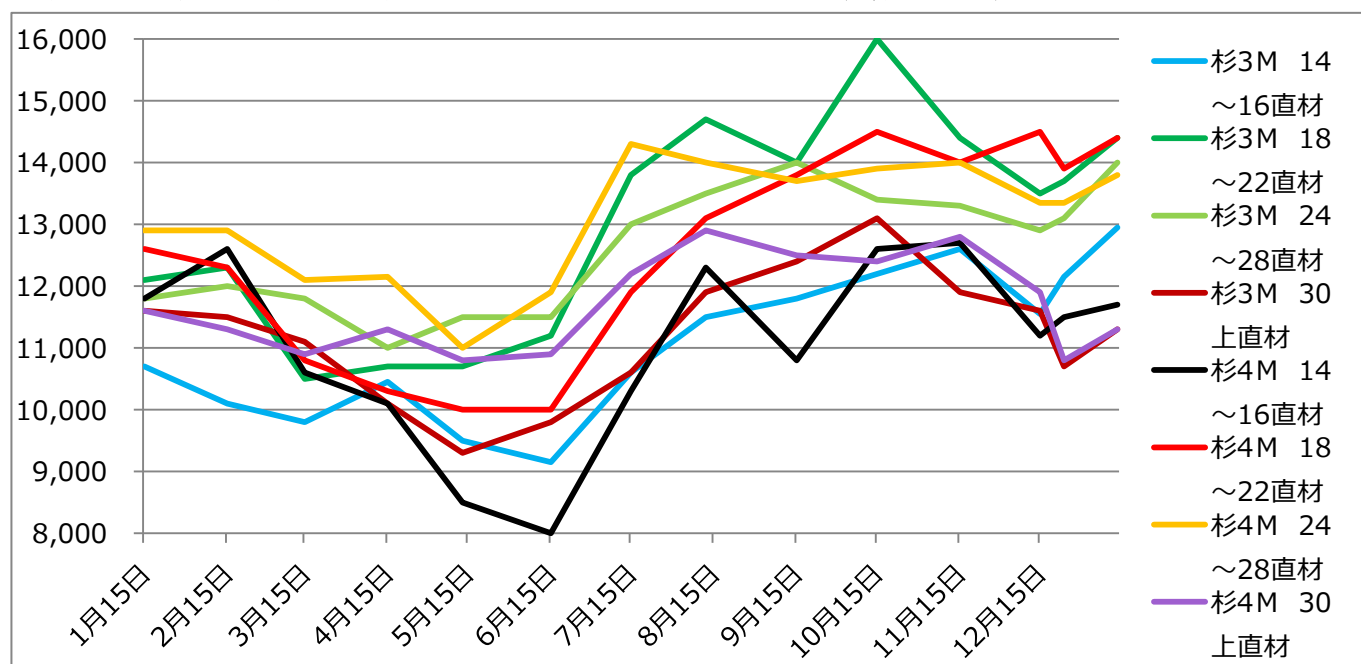
写真は丸宇木材市売(株)下館市場(28/11)

資料(6) 平成 28 年～29 年丸太市況 桧 3～4m (久万広域森林組合分) 平成 29 年 1 月 13 日迄



平成 29 年 1 月の桧丸太価格は、年末年始で出材量が減少しているなか、プレカット工場の稼働が年明けも好調で、一般材を中心に引き合いも多いため、初市では柱・土台取り用丸太を中心に価格が上昇した。ただ、製品価格があまり上昇しないこともあり丸太価格は大幅な価格上昇にはなりにくい様相となっている。今後は雪の影響などにより出材量が不安視されるが、出材量が回復すれば弱保合になる見込み。合板用丸太や梱包用材、チップ・バイオマス用材等の低質材も出材減で、強保合で推移している。また、新年度よりサイプレス・スナダヤの新工場も稼働し始めると、合板用や低質材を中心に需要がひっばくする可能性が大である。

資料(7) 平成 28 年～29 年丸太市況 杉 3～4 m (久万広域森林組合分) 平成 29 年 1 月 13 日迄



杉丸太の状況は上述の桧とほぼ同じ内容となっている。

1月の商況

1月の商況は、年末からの積み残しが多く、年明けの新設住宅着工も好調で、プレカット工場も高稼働を維持しており、大手ハウスメーカーや、分譲住宅がメインのパワービルダー・賃貸大手メーカーなどがけん引している。そのため製品も一般材を中心に好調で推移しており、国産材製品相場は構造材・羽柄材とも強保合で推移しているが、製品価格は若干の上昇にとどまっている。また、役物需要は板材を中心に動いているが、全体的には低調な推移になっており、全国的に弱保合が続いている。今後は雪による丸太の出材が不安視されるが、端境期に入る2月末まではこの状態で推移する様相だ。

(1). 丸太相場

国産材丸太相場は、年末～年始にかけて出材量が減少したなかで製品需要が活発なことから、初市から相場が全体的に上昇している。ただ、製品相場の上げが鈍いことから、暴騰にはならない様相だ。また、合板用や梱包用、チップ用やバイオマス用の低質材は保合で推移している。今後は厳寒期にはいり山に雪が降ると丸太の出材が減少すれば一段と丸太高になるが、順調に出材があれば、丸太価格は落ち着く見込みだ。



久万広域森林組合 1月13日相場表

		杉		桧	
長さ	末口計	直	曲	直	曲
3.00	8～11	282	282	310	310
	12	8,500		12,100	
	13		12,100		
	14	10,600	8,300	14,500	13,700
	16	15,300	13,600	20,000	18,100
	18～22	14,400	11,900	17,300	16,400
	24上	14,000	11,800	17,700	16,100
	30上	11,300	10,300	15,000	14,000
4.00	8～11	416	416	500	500
	12	12,000		14,300	
	13		10,300		14,600
	14～16	11,700	12,600	19,300	17,600
	18～22	14,400	11,800	17,500	16,400
	24上	13,800	11,200	16,300	15,100
	30上	11,300	10,500	17,700	16,800
6.00	18上	16,000	14,000	26,000	24,000

(注) 3桁は本売り 単位m³

(2). 国産材製品相場

国産材製品は、需要期を迎えて一般材を中心に活発化している。プレカット工場向けが年末の積み残しが多い事もあるし、乾燥機的能力や丸太価格が上がったが製品価格の上げが鈍いことなどにより製品供給が横ばいで推移し、桧土台角、桧・杉KD10.5cm柱角や間柱等を中心に品薄感が出ている。役物は杵材用やフローリング・壁板等の板材はある程度の需要があるが、役柱等は低調で、弱保合で推移していて、役物工場は丸太高のうえに製品安で苦慮している。



首都圏市場の木材標準相場表 単位m ³					
品目	樹種	寸 法	等級	12月	1月
柱角	杉 (KD)	3M 105mm角	特等	50,000	56,000
間柱	杉 (KD)	3M 30×105mm	特等	50,000	51,000
柱角	桧 (KD)	3M 105mm角	特等	60,000	62,000
柱角	桧 (KD)	3M 120mm角	特等	60,000	62,000
土台角	桧 (KD)	4M 105mm角	特等	60,000	62,000
土台角	桧 (KD)	4M 120mm角	特等	60,000	62,000

(3). 米材

国内挽き米松製品は住宅着工が好調で荷動きは活発化しているが、競合するRウッド集成平角や現地挽き製品にけん制され、KD平角や小角・平割類はおおむね保合で推移している。現在の米松丸太価格は冬場の伐採減から供給が絞られ需給は引き締まったままだが、引き続き米国新設住宅着工が好調で現地の丸太需要が活発なことや、中国向けの丸太輸出も堅調に加えて円安急進で大幅なコスト高となっていて、今後は製品価格の値上げのタイミングが焦点になってくる。米ツガは保合で推移している。

首都圏市場の木材標準相場表(国内挽き)				単位m ³	
	樹種	寸 法	等級	12月	1月
平角	米松KD	4M 105×270mm	特等	55,000	55,000
平角	米松グリーン	4M 105×270mm	特等	44,000	44,000
角材	米松KD	4M 105mm角	特等	56,000	56,000
タルキ	米松KD	4M 45×45mm	特等	56,000	56,000
筋交い	米松グリーン	4M 45×105mm	特等	45,000	45,000
注入土台角	米ツガ	4M 105mm角	特等	55,000	55,000
注入土台角	米ビバフォーHC	4M 105mm角	特等	73,000	73,000
首都圏市場の木材標準相場表(輸入品)				単位m ³	
角材	米松KD	4M 105mm角	特等	51,000	51,000
平割	米松KD	3M 45×90mm	特等	51,000	51,000
タルキ	米松KD	4M 45×60mm	特等	52,000	52,000

(4)．欧州材・ロシア材

欧州材は、年明けもプレカット工場の稼働が好調なことからRウッド集成平角の品不足が全国的に強まっていて、一部パワービルダーでは米松KD平角で代用する動きも見られた。また、円安によるラミナコストの上昇も見込まれ、製品値上げも予想される。Wウッド集成管柱や間柱は、Rウッド平角ほどの不足感はないが強保合で推移している。こちらも円安による製品価格上げも見込まれる。ロシア材も良材を中心に原木・製品とも入荷が減っているが、ホームセンター向けが堅調で、価格は保合で推移している。

首都圏市場の木材標準相場表				単位m ³	
	樹種	寸法	等級	12月	1月
集成平角（国産）	Rウッド	4M 105×240mm	特等	57,000	57,000
集成管柱（国産）	Wウッド	3M 105mm角	特等	1,860	1,860
間柱（欧州産）	Wウッド（KD）	3M 27×105mm	特等	50,000	50,000
集成平角（欧州産）	Rウッド	4M 105×240mm	特等	57,000	57,000
集成管柱（欧州産）	Wウッド	3M 105mm角	特等	57,000	57,000
ラミナ	Wウッド	乱尺		33,000	33,000
ラミナ	Rウッド	乱尺		33,000	33,000
ロシアタルキ	アカ松KD	3.8M 35×35mm	特等	62,000	62,000
ロシア胴縁	アカ松KD	3.8M 16×40mm	特等	70,000	70,000



(5)．NZ・チリ材

NZ・チリ材は、梱包・パレット向けの荷動きは地域や材種によってまだら模様。物流関係では国内向けパレット等の引き合いは上向いているものの、主力の輸出梱包関連は迫力不足の状況だ。現地丸太価格は中国向けも順調で高騰していて、加えて円安も進んでおり、大手メーカーが年明けから4,000 円の値上げを打ち出しているが、梱包メーカーも競争が激しく、国産材との価格差を懸念する声もある。

梱包関連標準相場表				単位m ³	
	樹種	寸法	等級	12月	1月
割板	ラジアタ松	4M 15×240mm	特等	37,000	37,000
割角	ラジアタ松	4M 27×85mm	特等	35,000	35,000



(6). 針葉樹合板

国産針葉樹合板は、昨年末からプレカット加工も好調を維持していることや、住宅の剛性確保のため1棟当たりの合板使用量が増加したこともあって、厚物合板はもちろん12mm厚の構造用合板も納期遅れが顕著になってきている。直販ルートはもちろん木建ルートでも仕事があるために既存顧客以外の注文には対応できない状態だ。メーカーも丸太在庫があることで、年明けから増産体制に入り、年始からの需要家の供給要望に対応していく。プレカットの需要が落ち着く春先まではこの状態が続く見込み。

首都圏針葉樹構造用合板関連相場表（大阪地区）			単位 枚	
	樹種	寸法	12月	1月
針葉樹構造用合板	JAS	12mm 910×1820mm	960	960
針葉樹構造用合板	JAS	15mm 910×1820mm	1,330	1,330
針葉樹構造用合板	JAS	24mm 910×1820mm	1,880	1,880
針葉樹構造用合板	JAS	28mm 910×1820mm	2,190	2,190



(7). プレカット

全国の1月のプレカット会社の受注状況は、昨年末からの積み残しなどもあり、地域差・工場間格差はあるものの、例年より高水準の稼働で幕開けした。分譲住宅が需要をけん引しており、地域ビルダーの物件も堅調。ハウスメーカーの注文住宅も仕事量は安定している。それに対して、地場工務店は受注力の格差が広がっており、一部の工務店に仕事が偏っている傾向が見られる。新築の受注が不安定な状態だ。非住宅物件は時期的なこともあり減少傾向だが、大型物件を受注している工場もみられる。集合住宅の受注も減りつつあるが、一定の割合は維持している。今後は稼働のピークは過ぎたことや、一般住宅の見積もりは減りつつあるようで、2月以降は減少する見込み。

1月のプレカット稼働調査（全国平均表）

単位：％（ ）内は前年比

	12月（実績）	前年比	1月（受注）	前年比	2月（見込）	前年比
北海道	140.2	115.7	110.0	126.7	81.5	90.0
東北	81.0	97.0	81.0	136.0	64.0	114.0
関東	107.0	104.3	101.9	109.3	100.8	109.6
中部	86.0	101.3	85.7	122.7	89.0	108.0
関西	101.7	101.7	96.7	95.0	90.0	83.3
中国	150.0	112.5	96.5	110.0	75.0	100.0
四国	118.0	108.0	80.0	81.0	97.5	102.5
九州	121.0	123.0	101.0	101.5	—	—
全国平均	113.1	107.2	94.1	110.3	85.4	101.1

日刊木材新聞・木材建材ウーキー他参照

『トピックス』

平成 28 年のふりかえりと平成 29 年の展望（日刊木材新聞等参照）

【住宅】

平成 28 年の新設住宅は、消費税の引き上げが先送りされたことで、不安が広がったが、マイナス金利による低金利の影響が大きく、最終的に前年を大きく上回り、90 万個を大幅に上回りそうだ。ただ、大幅に伸びているのは貸家と分譲のみで、注文住宅（ほぼ横ばい）も大手ハウスメーカーを中心に動き、地場工務店の苦戦が続いているため、国産材需要の伸びはほとんど感じられず、構造材の集成材比率が進んでいる。また、上記などの理由により、役物の不振が全国的に顕著な一年となった。

平成 29 年の新設住宅着工見込みは、約 90 万戸で昨年までとはいかないものの同じような推移の見込みである。

【国産材丸太】

平成 28 年の四国の国産材丸太は、春先～夏場までは低質材以外は需要が低調なこともあり、比較的低調に推移したが、需要期に入る秋口以降から、秋の長雨などの影響もあって思ったような出材が出ないこともあり、相場も強保合で推移した。平成 29 年も春先までは保合で推移する様相だが、春先以降に製品需要の減少により、丸太相場も夏場まで弱保合、秋口以降はやや上昇で推移する様相。ただ、合板用や低質材は、サイプレス・スナダヤの新工場が稼働するため、保合～強保合で推移しそうだ。また、新年度より愛媛の県森連も契約販売を始める予定で、市場の入札用原木が減少していて、地域の中小製材にとっての状況は、ますます厳しくなってくる様相だ。

【国産材製品】

平成 28 年の国産材製品は、夏場までの需要低迷のよる弱保合の中、秋口以降からの着工数増加や、W ウッド集成管柱の不足などにより製品需要が活発化し、強保合で推移したが、丸太価格は上昇したが、製品価格は思ったより上昇しなかったことが大きな傾向だった。平成 29 年も年明けは需要が活発で強基調で動いている。問題は 3 月以降の需要で、今のところ昨年を上回る要素が見込めず、夏場までは弱保合での展開が予想される。唯一の好材料としては、為替が円安水準で動いていることや、住宅着工がそこまで落ち込まない様相などがあげられる。また、今年度は山形の協和木材と愛媛のサイプレス・スナダヤで新設大型集成材工場が稼働予定で、従来の国産無垢材が国産集成材にシェアを奪っていかれることも懸念される。昨年は年間を通じて低調だった役物是一部大幅盤材等をのぞいては、需要回復の兆しが見えず、昨年同様の推移が予想される。

【木質バイオマス】

平成 28 年の四国のバイオマスの状況は高知県の 2 社（グリーンエネ・グリーンパワー）が本格稼働に入り、夏からは徳島県のクラボウ徳島が稼働に入った。このため、四国内では 8,000 円台の高値で張り付いていたこともあり、未利用材の集荷は順調だった。秋口以降は輸入チップの値下がりや、合板用丸太の受け入れ調整などで、高値是正が出ている。平成 29 年は円安に推移しており、今後は製紙メーカーの国産材供給への関心が高まってくる一方で、燃料用丸太の供給は平成 28 年末にはやや過剰感がみえる。今後は平成 30 年 1 月稼働計画のエネ・ビジョン・えひめ発電の稼働が計画されており、少しでも素材生産が落ち込むと暴騰の可能性を持っている。

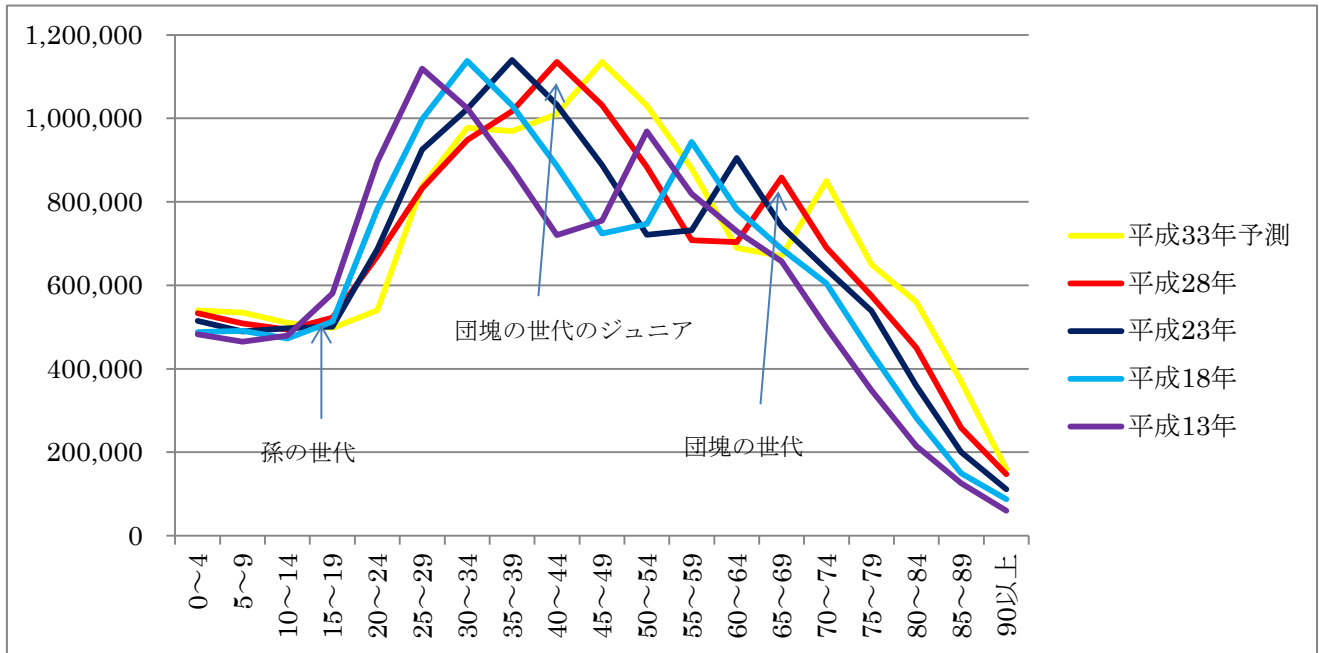
所在地	発電所名	稼働日	発電規模 (KW)	燃料 (トン) 未利用材 一般木材	PKS	備考
高知市	イーレックスエナジー土佐発電所	13.6	29,500		100,000	PKS100%+石炭
宿毛市	グリーンエネルギー研究所	15.2	6,500	27,000 63,000		
高知市	土佐グリーンパワー	15.4	6,250	80,000		
阿南市	クラボウ徳島バイオマス発電所	16.7	6,200	84,000		
松山市	エネ・ビジョン・えひめ森林発電	18.1	12,500	60,000	60,000	PKS+未利用材

『トピックス』

少子高齢化の大波が今後大都市へ

「高知県は高齢化先進県」と言われています。それは全体の人口に占める高齢者の多い「率」であって「量」ではありません。都市圏では今後「高齢者人口の量」の大波がやってくることになります。首都圏(東京・埼玉・神奈川・千葉・栃木・茨城・群馬)の人口は併せて 4,315 万人。これは高知県の人口 76 万人のじつに 57 倍にもなります。

東京都の年齢別人口分布図



【表から読めること】

東京都では今後 5 年間で 65 歳以上の退職世代人口が 30 万人以上増加する。(首都圏では約 100 万人)
団塊のジュニア世代は「子どもを作らない世代」、将来の若者人口(大学生以下)は減少する。
医療・高齢者介護福祉のニーズが高くなる。
退職者が時間を過ごすサービス産業が増加する。

【建築の業界で考えられること】

新築住宅のニーズはピークを過ぎており、今後は減少する。
空き家が多くなり住宅の価格相場は下がる。
リフォーム・リノベーションの需要はある程度は見込める。
自治体は高齢者への福祉対策に迫られ、インフラ整備の予算配分が変わってくる。
新築住宅への補助金などは減少する。



ご案内

平成 28 年度経営セミナー

高知県木材協会では、高知県内企業の経営体質強化を図るため、関連業界の方々を対象として経営セミナーを開催することとなりました。

今年で3回目となりますが、テーマをまた木材輸出に絞り、先駆者のお話を聴くことができます。最近では韓国向けだけでなく、台湾への木材輸出も注目されるようになりました。

宮崎県・徳島県などはすでに現地へ人員を何度か派遣し実績を上げています。

今後の皆様の事業の参考にもなるとおられますので万障お繰り合わせのうえ、多数のご参加をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

日時：平成 29 年 2 月 10 日(金) 14:30～16:30

場所：ちより街テラス 3F ちよてらホール (150 人)



① 講演：(株) 木童 (兵庫県神戸市)

代表取締役 木原 巖 氏

テーマ：「台湾での木造建築づくり」



② 講演：日本木造住宅輸出協会 会長

(株) 住まいず (鹿児島県霧島市) 取締役会長

有村 吉孝 氏

テーマ：「韓国などへの木造住宅輸出について」

③ 告知：高知県土木部港湾振興課よりお知らせ

「高知新港とコンテナ利用促進事業について」



日産サニー・ベスト電器の建物です。駐車場あり

主催：日本貿易振興機構 (JETRO)

高知貿易情報センター

一般社団法人高知県木材協会

後援：高知県

入場無料

参加受付窓口：一般社団法人高知県木材協会

担当：嶋崎

パブリックコメントを募集しています

「高知県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例(仮称)」について 県民の皆様のご意見を募集します

自由民主党高知県連では、県産木材の供給及び利用の促進を通じて本県の経済の活性化及び循環型社会の形成に寄与することを目的とする「高知県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例(仮称)」を制定するために検討を進め、このたび条例案をとりまとめました。

つきましては、この条例案について、広く県民の皆様からのご意見を募集いたします。

1 ご意見を募集する案の名称

高知県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例(仮称) (案)

2 ご意見の募集期間

平成 29 年 1 月 16 日 (月) ～平成 29 年 2 月 3 日 (金)

＊ なお、郵送でのご意見提出の場合は、当日消印有効です。

3 条例案等の入手方法

(1) 木材協会のホームページに下記のリンクを貼っています。

[高知県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例\(仮称\) \(案\) \(PDF 形式\)](#)

[高知県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例\(仮称\) \(案\) の概要 \(PDF 形式\)](#)

[関係者の責務・役割 \(案\) について \(PDF 形式\)](#)

(2) 条例案は、下記の場所にも置いています。

○ 自由民主党高知県連

〒780-0861 高知県高知市升形 1-21 自民会館

TEL : 088-822-3345

FAX : 088-821-0515

○ 高知県議会自由民主党控室

〒780-8570 高知県高知市丸ノ内 1-2-20

TEL : 088-823-9522

FAX : 088-823-9016

○ 一般社団法人高知県木材協会

〒780-0801 高知県高知市小倉町 2-8

TEL : 088-883-6721

FAX : 088-884-1697

4 ご意見の記載方法

表題を「高知県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例(仮称)(案)への意見」とし、該当箇所(ページ、項目名等)及びご意見をご記載ください。

＊ 内容についてご確認させていただくこともありますので、ご協力いただける場合は、お名前、連絡先を記載してください。

なお、当該個人情報他目的には利用いたしません。

5 ご意見の提出方法・提出先

電子メール、郵送、ファックスのいずれかの方法によりご提出ください。

(1) 電子メールの場合

電子メールアドレス fukushima@coral.ocn.ne.jp

(2) 郵送の場合

〒780-0861

高知市升形1-21 自民会館

自由民主党高知県連 あて

(3) ファックスの場合

ファックス番号 088-821-0515

6 注意事項

(1) ご意見の提出は、日本語に限らせていただきます。

(2) お電話や口頭でのご意見には対応できませんのでご了承ください。

(3) ご意見を提出された皆様に対する個別の回答はいたしませんのでご了承ください。

(4) お寄せいただいたご意見の内容によっては、意見の要約や同趣旨の意見の取りまとめ等をさせていただきます場合があります。

その上で、検討の結果を、個人情報を除き、自由民主党高知県連ホームページで公開します。

7 お問い合わせ先

電話番号 088-822-3345

次のページに条例案概要を載せています。→

高知県県産木材の供給及び利用の促進に関する条例(案)の概要

《これまでの県産木材をとりまく状況》

- 木材の輸入全面自由化(昭和39年)→国産材の価格低迷(例 スギ中丸太価格はピーク時の3分の1以下)
- 年間を通しての質・量ともに安定的で均一な木材の供給が困難



- 林業生産活動の停滞→中山間地域からの林業労働者の減少→過疎化・高齢化
- 森林管理の停滞→森林の有する多面的機能の低下、災害発生の懸念

条例に基づく施策の展開

《条例の目的(第1条)》

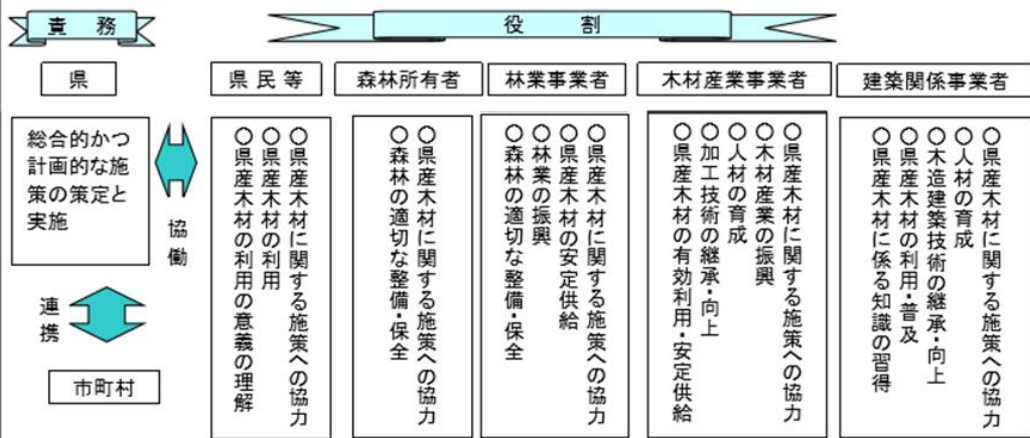
- 県産木材の供給及び利用の促進に関し、①基本理念、②県の責務・森林所有者等の役割、③施策の基本となる事項を定め、これを総合的かつ計画的に推進することにより、林業・木材産業の持続的な発展等を実現し、もって経済の活性化・循環型社会の形成に寄与する

《基本理念(条例の精神)(第3条)》

県産木材の供給及び利用促進は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない

- 県産木材の経済的価値の向上が図られること
- 森林の次世代への継承等が図られること
- 県産木材の好循環の促進が図られること

《関係者の責務・役割(第4条～第10条)》

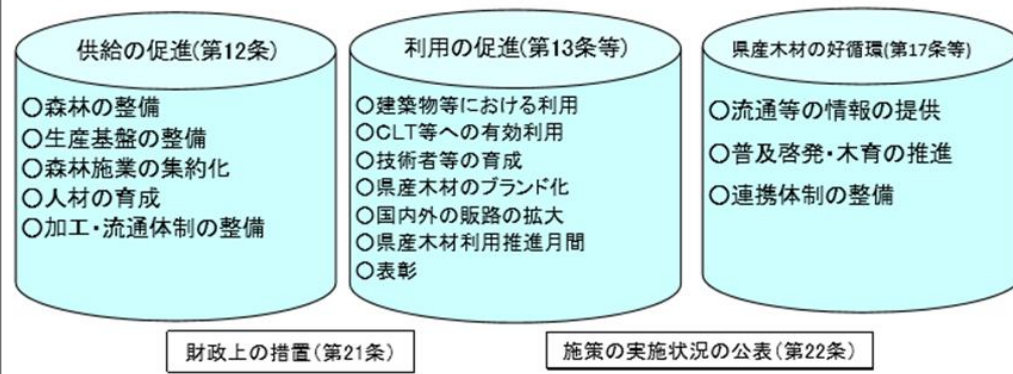


《県産木材の供給及び利用の促進に関する計画(第11条)》

○県産木材の供給及び利用の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、次の事項を定めた基本的な計画を策定

- ①県産木材の供給及び利用の促進に関する基本的事項
- ②県産木材の供給及び利用の目標
- ③その他必要な事項

《主要な施策》



地域材利用の木材関係者等への支援対策事業（平成28年度林野庁補正事業）

高知県林業活性化推進協議会

高知県林業活性化推進協議会では、地域材利用の木材関係者への支援対策事業（平成28年度林野庁補正事業）で、以下の事業に応募し、採択されました。
これから事業を進めていきます。

① 四国 88 ヶ所霊場への木製ベンチの設置・展示

毎年、多くの参拝客が訪れる四国 88 ヶ所霊場に地域材で作成した木製ベンチを設置・展示し、全国から訪れる多くのお遍路さんに休憩してもらい、木の良さを体感してもらう。また、今回は四国 4 県と共同で事業を開催し、各県と連携しながら地域材の普及促進を図る。

② 電車交通広告での木材普及・PR

高知市内中心部を走っている路面電車に木材使用の PR 広告を塗装した車両（車両窓下両面広告）を一定期間走らせ、多くの県民に地域材の普及促進の PR 活動を行う。

③ 高知県木造住宅フェアの開催

例年、高知市中央公園で開催している高知県木造住宅フェア「もくもくランド」を開催し、来場する多くの県民の皆様は川上～川下まで連携した木材利用の PR や木材普及・販売促進活動を行い、地域での木材の需要拡大に取り組む



高知県からのご案内

高知県新エネルギー導入促進協議会

小形風力発電に関する講演会のご案内

高知県では、「高知県新エネルギービジョン」の着実な実行と新エネルギー導入のあり方について検討するため、「高知県新エネルギー導入促進協議会」を設置しております。この協議会では、新エネルギー普及のための啓発活動として講演も実施しています。

今回は、全国的に注目を集めております小形風力発電（20kW未満）についてご講演いただきます。ご興味、ご関心がある方はぜひご参加ください。

◆ 期 日 平成 29 年 2 月 9 日（木）

◆ 会 場 高知商工会館 3階 寿の間
住所：高知市本町 1 丁目 6-24 TEL：088-875-1171

◆ 日 程 12：50 開 場
13：15 開 会
13：20 ～

『高知県新エネルギービジョンについて』

高知県林業振興・環境部新エネルギー推進課

13：40 ～

『小形風力発電の導入ポイントと将来展望について』

一般社団法人 日本小形風力発電協会

副理事長 久保 昌也 氏

14：25 ～

『小形風力発電事業の現状と本格導入に向けた留意点について』

一般財団法人 日本クリーン環境推進機構

理事 兼 事務局長 鈴木 和幸 氏

15：10 ～

質疑

15：30 ～

◆ 参 加 費 無 料

◆ 定 員 70名（※先着順。定員に達した場合は、受付を締切らせていただきます）

◆ 参加申込 平成 29年2月7 日（火）午後5時 までに、
申込書に必要事項をご記入のうえ、FAX またはメールにてお申し込みください。
どなたでも参加できます。

◆ 申込み・問合せ先 高知県林業振興・環境部 新エネルギー推進課（担当 讃岐・原）

TEL：088-821-4538

FAX：088-821-4530

Email: 030901@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県からのご案内

平成 29 年度「こうちの木の住まいづくり助成事業」の説明会開催

「こうちの木の住まいの助成事業」が平成 29 年度より補助要件や申請手続き方法が変わります。

現行： 基本部位における県産材使用割合 70%以上 $\Longrightarrow$ **80%以上に変更**

申請様式の一部変更

高知県木材産業振興課では事業内容についての説明会を下記にて開催しますので、参加希望の方はお申込みください。

高知会場	平成 29 年 2 月 28 日（火） 平成 29 年 3 月 1 日（水） 両日とも 13：30～ 高知勤労センター5 階 定員 50 人
香美会場	平成 29 年 3 月 7 日（火） 10：30～ 香美市役所 3 階会議室 定員 30 人
安芸会場	平成 29 年 3 月 7 日（火） 14：00～ 高知県安芸林業事務所 2 階会議室 定員 30 人
幡多会場	平成 29 年 3 月 8 日（水） 13：00～ 高知県幡多林業事務所 2 階会議室 定員 15 人

お問い合わせ先

高知県林業振興・環境部 木材産業振興課

Tel 088-821-4592 fax 088-821-4594

E-mail 030501@ken.pref.kochi.lg.jp

CLT設計成果報告会

～平成28年度 第4回研修会～

開催のご案内

CLT建築推進協議会では、CLTの早期普及に向けて、平成25年度より県内で計画されるCLT建築物へのアドバイスや技術支援に取組み、皆様のご協力により、これまでに県内で6棟のCLT建築物が完成し、現在3棟の建築工事が進められています。

この度、本年度新たにCLT建築の設計に携われた皆様をお招きし、「CLT設計成果報告会」と題して設計を通じて得たCLTの活用方法などをお話しいたします。また、本県のCLT建築の推進にご協力いただいております河合直人氏(工学院大学 教授)を招き、「CLTの設計手法及び普及に向けた課題」についてのご講演や、当協議会の活動をサポート頂いております鈴木圭氏(木構造振興(株) 主任研究員)より、「CLT建築推進協議会の活動」について報告いたします。

CLTに関心のある多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

プログラム	
13:00～13:05	開会あいさつ
13:05～15:05	高知県立林業学校 →(株)細木建築研究所 →桜設計集団 宿毛商銀信用組合新店舗 →(有)舩建築工房 →山本構造設計事務所 柳町 CLT Build →(有)建築設計群 無垢 →桜設計集団
15:05～15:20	休憩
15:20～16:00	(仮称)はるのガーデン →高橋設計 →山本構造設計事務所
16:00～16:20	CLT建築推進協議会の活動報告(仮題) 木構造振興(株) 主任研究員 鈴木 圭氏
16:20～16:50	講評・講演 「CLTの設計手法及び普及に向けた課題」 工学院大学 教授 河合 直人氏
16:50～16:55	閉会あいさつ

講評・講演



河合直人氏

当協議会の幹事長を歴任され、建築プロジェクトにおいてご指導いただいている工学院大学の河合直人教授を招き、4つの事例発表の講評とともに、CLT建築の設計手法や普及への課題などについて講演いただきます。

建築事例



柳町CLTBuild



(仮称)はるのガーデン



高知県立林業学校



宿毛商銀信用組合新店舗

取組報告



鈴木 圭氏

県内で進むCLT建築への設計支援の状況や、取得したCLTの実験データの活用方法などについて報告します。

- 日 時：平成29年2月16日(木)
- 主 催：CLT建築推進協議会
- 会 場：高知城ホール 4F
高知市丸ノ内二丁目1番10号
(<http://www.kochijyohall.jp>)
※会場には駐車場がありませんので、お車でお越しの場合は近隣の有料駐車場等のご利用をお願いします。
- 参加費：無料
- 申込み：申込書にご明記の上、2月13日(月)までに事務局までFAX又はメールでお申込みください。
- 定 員：150人

<お問い合わせ先>

CLT建築推進協議会事務局

〒783-0055 南国市双葉台7番地1(高知県森林組合連合会内)

TEL:088-855-7050 FAX:088-855-7051

<http://www.clt-kenchiku.org>

第7回

優良土佐材見本市



■ 開催日時 平成**29**年**2**月**23**日(木)

■ 会場 (協) 高幡木材センター

高知県高岡郡四万十市東大奈路505
TEL 0880-22-1241

午前**9**時**30**分開市

造作材・役柱類

午後**1**時**00**分開始

一般材 昼食は準備しております。

優良土佐材を多数出品していますので
多くのみなさまのご参加をお待ちしております！

- 主催 土佐材流通促進協議会
- 共催 (協) 高知木材センター
(協) 高幡木材センター
(協) 西部木材センター
- 後援 高知県・高知県木材市場連絡協議会

□■ お問い合わせは ■□

土佐材流通促進協議会

〒780-0801 高知市小倉町2-8

TEL088-883-6721

FAX088-884-1697

(担当：嶋崎・松岡)



熊本地震現地調査から学ぶ「連続震度7でも倒壊しない耐震設計」とは



佐藤実 さとうみのる こうぞうじゅく 構造塾



平成**29**年**2**月**23**日(木)

高知市文化プラザ かるぽーと 小ホール

プロ向け

14:00~

地震報告セミナー&
構造塾

一般向け

18:00~

地震報告セミナー&
地震に強い家づくりを考える

お問い合わせ 南海大地震復興相談準備室 代表 岡本直也 tel.090-5143-0607 Mail : nankaidaijishin-f@excite.co.jp

主催／南海大地震復興相談準備室 協力／KOCHI 防災危機管理展実行委員会
後援／高知県・高知市・南国市・高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ
協賛／あおぞら保険・株式会社岡村文具・株式会社ケイウッド・高知県消防栓標識株式会社
有限会社城南タイヘイトーヨー住器・ドコモショップ潮江店・百石店・南国店・株式会社豊栄電気工事
株式会社長野瓦・日本中央警備株式会社・株式会社ピーステック

(順不同)

第8回新たな「木材利用」事例発表会 ～「木の学びやと木のまちづくりの動向」～

1 開催日等

日 時 平成29年2月23日(木) 13時00分～17時00分
場 所 木材会館7階ホール(東京都江東区新木場1-18-8)
主 催 一般社団法人 全国木材組合連合会、木材利用推進中央協議会
定 員 200名(一般消費者、建築・設計・木材関係者等)

2 事例発表(予定)

(第1部)「基調講演」 13時15分～14時30分

「木材を活用した学校施設のリノベーションによる地域活性化」

…… 東洋大学名誉教授、教育環境研究所 理事長 長 澤 悟 氏

(第2部)「木材を使った街づくり」事例とその評価 14時45分～16時45分

ア 鶴岡市における学校施設への木材利用(朝日中学校等)

…… 鶴岡市 建設部 建築課 技師 後 藤 章 子 氏

イ 都市の木造化・木質化の提案と実践(仮称)

…… NPO法人 teamTimberize 理事、株式会社 HUG 代表取締役 山田 敏博 氏

ウ 大型木造医院・新柏クリニック建設へのこだわり

…… 医療法人社団中郷会 新柏クリニック院長 木 村 敬 太 氏

エ 「流通材を生かした大型木造建築の可能性」

…… SMB建材株式会社 木構造建築部 部長 小 川 嘉 男 氏

(付) 国産材マークの報告

問合せ先 一般社団法人 全国木材組合連合会、木材利用推進中央協議会(肥後、細貝、高田)
TEL 03-3580-3215 FAX 03-3580-3226
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル6F
Eメール info@zenmoku.jp ホームページ <http://www.zenmoku.jp/>

第40回“木材の実用知識”講習会開催のお知らせ(予告)

木材利用の新しい風を読む

ー原木生産から木造建築までー

我が国の木材産業は、木材需要の変遷の波にもまれながら、その時々々の消費者・需要者のニーズをとらえ、森林資源や流通を含めた諸事情の変化に対応しながら事業活動を展開してきました。とくに近年は消費者・需用者のニーズの多様化が大きく進み、音楽ホールや多目的競技場など、住宅建築用材以外の用途開発が盛んに行われるようになりました。このような時代の流れの中、2020年開催予定の東京オリンピックに向けた新国立競技場建設においても、木材を使った巨大建築物が世界に発信されようとしています。木材利用が大きな追い風を受けていると言っていいでしょう。この「風」を読み、これからの利用技術に何が求められるのか、川上から川下までトータルに考えることが、今後の木材産業の発展に極めて大切なことではないかと考えます。

そこで、今回の「木材の実用知識」講習会では、原木生産から加工、成分利用、木造建築までを俯瞰し、それぞれの分野で展開されつつある新しい技術、新しい用途開発について専門家の方々に講師を迎え、学習する機会を持つことにしました。

木材の生産、流通、木材製品の開発・製造に携わっている方々、地方公共団体の担当者の方々はもちろん、住宅分野、大学・試験研究機関の方々も奮ってご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時：平成29年2月28日(火) 11:00～16:20

場 所：木材会館7階ホール(東京都江東区)

主 催：公益社団法人日本木材加工技術協会

後 援：折衝中

受講料：会員16,000円、非会員26,000円(テキスト代含む)

定 員：100名

プログラム(予定)：

11:00～11:10 開会挨拶 (公社)日本木材加工技術協会会長 服部順昭

11:10～12:00 新しい原木生産技術～最新林業機械と技術開発
(研)森林総合研究所 林業工学研究領域 上村 巧 氏

12:00～12:50 昼 食

12:50～13:40 新しい広葉樹材利用～早生広葉樹の材質と利用
九州大学大学院 農学研究院 松村順司 氏

13:40～14:30 新しい積層材製造技術～集成加工の効率化
(研)森林総合研究所 複合材料研究領域 平松 靖 氏

14:40～15:30 新しい成分利用技術～CNF, リグニン, 抽出成分等
(研)森林総合研究所 研究ディレクター 木口 実 氏

15:30～16:20 新しい木造建築技術～規格流通材等の利用
東京大学大学院 生命農学研究科 青木謙治 氏

地域の特性に応じた 木質部材・工法の 開発・普及等支援事業

地域材利用拡大緊急対策事業は、地域材の良さを発信し需要を増大させるとともに、
地域材を利用する木材関係者等が連携して行う取組等を総合的に支援し、
山村地域の重要な産業である林業・木材産業を活性化させていくことを目的としています。
平成28年3月に地域の特性に応じた木質部材・工法の開発・普及等の事業を募集し、
地域材利用拡大について波及性の高い優れた提案を採択しました。
各採択事業の実施完了とともに成果報告会を実施します。

開催日時 平成29年 **3月16日(木)** 10:00～17:00

会場

豊洲シビックセンター
ホール

東京都江東区豊洲2-2-18



参加方法

以下のURL・右のQRコードからお申し込みください。

※参加無料です

※先着、定員(300名)になり次第締め切ります

<https://chiikizai.com/>



お問い合わせ

成果報告会事務局までメールにてご連絡ください。

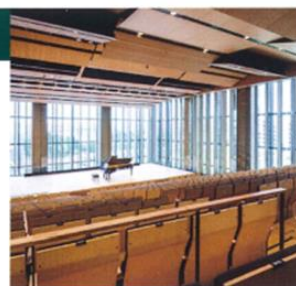
info@chiikizai.com



16日(木) 開催プログラム

10:00 開会
10:25 成果報告(5組)
12:35 休憩
13:35 成果報告(7組)
17:00 終了

※プログラム詳細は当イベントの
WEBページにてご確認ください。



行事予定

- 2月 10日(金) 経営セミナー【木材輸出促進セミナー】(ちより街テラス)
17日(金) 全木連四国支部事務局担当者会議(高知県木材協会)
〃 北岡 浩 氏 旭日小綬章祝賀会(城西館)
23日(木) 第7回優良土佐材見本市【合同市】((協)高幡木材センター)
3月 8日(水) 土佐材流通促進協議会 岡山商談会(岡山国際交流センター)
9日(木) 〃 広島商談会(ワークピア広島)
8・9日 岡山扇木材第4回土佐材まつり(ナイス岡山市場)
10日(金) 非住宅建築物木造化促進事業第5回検討会(ちより街テラス)
〃 〃 平成28年度クロージングセミナー
23・24日 全木連・全木協連・木退協・全木政連合同会議(東京都木材会館)
28日(火) 木材協会理事・監事会

次世代へつなぐウッドファースト社会目指して

木を育て～木に親しみ～そして木を活かす



一般社団法人高知県木材協会

〒780-0801 高知市小倉町2番8号

TEL:088-883-6721 FAX:088-884-1697

<http://www.k-kenmoku.com>